

実践しよう！こころのユニバーサルデザイン

一人一人が「理解」し「行動」することが大切です

ユニバーサル社会を作り上げ、支えていくのは、こころのユニバーサルデザインを実践する県民一人一人です。

- (1) さまざまな人のことを「理解」する
- (2) 互いを尊重しあい、思いやりの気持ちをもって「行動」する

ユニバーサル社会の実現

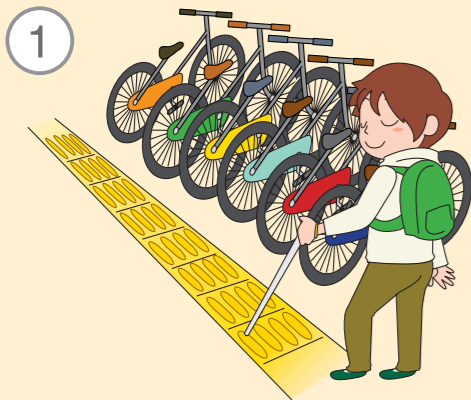
県民一人一人の実践

こころのユニバーサルデザインは、例えば、下表のような例が挙げられます。どれも私たちの生活に身近なことで、ほんの少しの配慮や心がけ次第ですぐに実践できることばかりです。みんなで実践しましょう！

= 「理解」してください

= 「行動」してください

安全に、スムーズに歩けるように



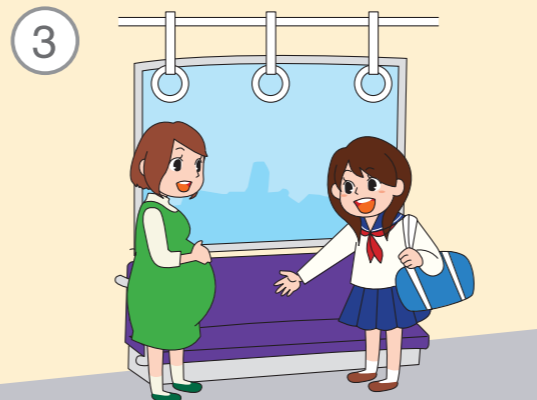
点字ブロックの上に自転車や看板などを置かないようにしましょう

ちょっとした思いやりの意思表示を



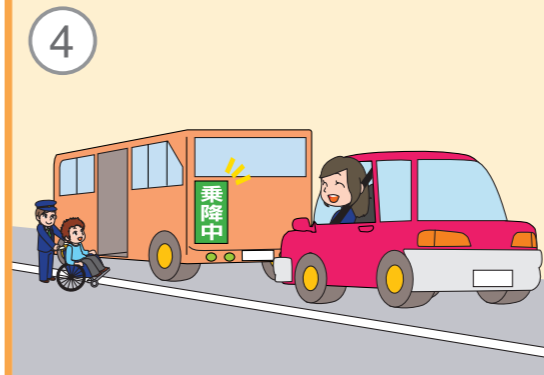
耳マーク表示板を設置して、思いやりの意思表示をし、筆談に快く応じましょう

ゆづりあい・たすけあい



妊婦さんやお年寄り、体の不自由な人に気持ちよく席をゆづりましょう

少しだけ待つという思いやりを

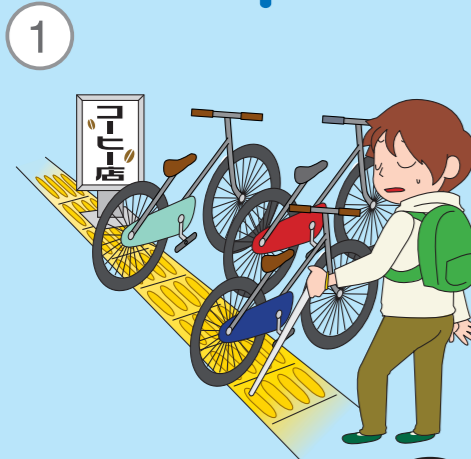


利用者が乗降中の低床型バス(ノンステップバス等)の後続車は待つという思いやりを持ちましょう

私は停めません！



車いすマーク駐車場を必要としている人がいます。みんなでマナーを守りましょう



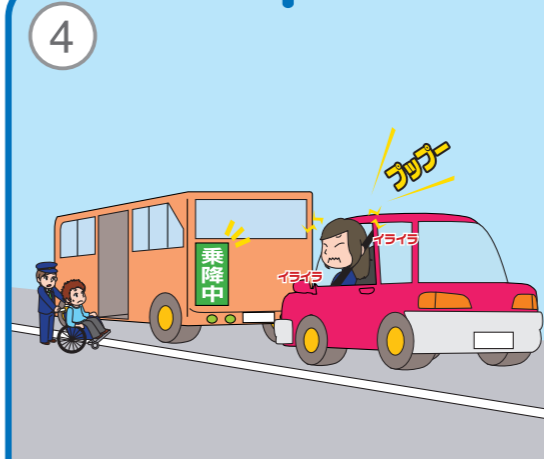
せっかく点字ブロックがあるのに…。安心して歩けるようになるといいな。



尋ねたいことがあるんだけど…。筆談してくれるかしら。



座りたいな。やさしくゆずってくれるとうれしいな。



乗車、降車に時間がかかります。少しの間、後続車は待つほしいな。



ココじゃないと停められません！健全者は一般駐車場に停めてほしいな。